

佐賀工業高等学校の歴史と特徴

かつてこの佐賀を治めていた佐賀藩は、1852年(嘉永5年)に、精煉方(理化学研究所)を現在の佐賀市多布施三丁目に設置し、様々な理論・技術の研究開発を行い、1855年(安政2年)には、日本で最初の蒸気船・蒸気機関車の模型の試作運転に成功するなど、幕末日本の科学技術の発展に大きな功績を残しました。

本校は、そのような歴史と「ものづくり」精神を背景に、1898年(明治31年)に九州で2校目の工業学校として開校された、歴史と伝統に輝く工業高校です。創立以来、優れた工業人を育て、26,000名を超える卒業生が全国各地で活躍しています。

「至誠剛健」を校訓に掲げ、「人間教育」を中心に据え、次代を担う平和で民主的な社会の形成者として、人間愛に満ちた心身共に健全で逞(たくま)しい工業技術者の育成を目指しています。

学校の誇る工業技術の継承

佐賀藩のものづくり精神を受け継ぎ、工業技術の向上と継承を目的に、ものづくり教育に力を注いでいます。

各種ものづくり競技会においても、生徒達は先輩から後輩へ技術の秘訣を受け継ぎながら、県内大会はもちろんのこと、九州・全国大会でも、数々の成果を収めています。

- 令和7年度高等学校ロボット競技佐賀県大会第1位
全国大会出場
- 令和7年度高校生ものづくりコンテスト佐賀大会木材加工部門
最優秀賞 九州大会 優秀賞
- 令和7年度佐賀県高校生ものづくり溶接大会
九州地区大会 優良賞 など

優勝



学校所在地: 佐賀市緑小路1-1

生徒数: 708名

連絡先: TEL 0952-24-4356 FAX 0952-25-7043

URL: <https://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoukou/>

学校周辺地域の環境美化等の活動

毎年、生徒会を中心に全校生徒が、学校周辺道路のゴミ拾い清掃や除草作業など、地域の環境美化貢献を目的に、ボランティア活動を継続して行っています。



ものづくり体験教室(3Dプリンター等)の実施

地域貢献の一環として、ものづくりを体験させるべく日新こども園の園児を招き、高校生活で学んだ知識技術を使い、ものづくりの楽しさや素晴らしさを体験してもらっています。



キューボラ溶解実習を公開

築地反射炉にゆかりのある日新小学校の児童を招いて、1,400°C以上で鉄を溶かすキューボラ溶解実習を見学してもらい、ものづくり技術のすごさと安全に作業する大切さを学んでもらっています。

